

花だより

第111号 秋季刊



題字／中澤シゲミ様
(83歳) 羽衣地域福祉サービスセンター
2023年(令和5年) 11月10日発行

「床に足をつけ 持てる力を活かそう！」

アクティブ福祉in東京²³で、

発表！

9月27日に新宿の京王プラザホテルにて、第23回高齢者福祉実践・研究大会アクティブ福祉in東京²³において、科学的介護の実践・生産性向上の取り組み部門に生活リハビリ「床に足をつけ、持てる力を活かす」の経緯・結果を発表する機会を頂きました。

取り組みの経緯は新型コロナウイルスが蔓延し、1年が経過した2021年の夏、ご利用者

の活動・交流が減って、生活が単調になり体力が低下していく状況が見られた事です。

そこで、スタッフ間で基本ケアの見直しを行い、廃用性症候群を防ぎ、スタッフの誰もが取り組める再現性のある結果を生み出す事を目指し、プロジェクトチームを特養3施設合同で発足させ取り組んできました。

大会での発表の結果は、惜しくも受賞とはなりませんでしたが、しかし、報告内容に、会場の法人施設の運営管理の関係者、介護現場に関わる専門職の関係者の皆さんはしきりに頷かれ熱心に聞き入る様子が見られ、配

発行 社会福祉法人 恵比寿会
フェローホームズ Fellow Homes

- 仲間の家・森の家・高松の家
フェローホームズデイサービスセンター
フェローホームズヘルプサービス
グループホーム・ヴィラ・フェローホームズ
フェローホームズアフタースクール
森の子ナーサリー（企業主導型保育園）
042-523-7601
- フェローホームズ富士見相談センター
042-526-1353
- 羽衣地域福祉サービスセンター
フェローホームズ羽衣相談センター
立川市南部東はごろも地域包括支援センター
042-523-5612
- 森の子こども園
042-538-0729
- しばさきのいえ子育てひろば
042-512-7704
- 立川市柏第四学童保育所
042-537-8555
- 立川市高松第三学童保育所
042-512-9703
- 立川市砂川七番学童保育所
042-537-7550
- 立川市柴崎第二学童保育所
042-512-8202

布された資料も、参考のためにと、多くの方が持ち帰られました。



取り組みだモデルグループのご利用者は、皆さん活力が向上し笑顔にも多くみられ、フロア

ステップ	ステップ	ステップ	ステップ	ステップ	ステップ
ベッド上移動 (しゃがみ姿勢)					
ベッドサイド	ベッドサイド	ベッドサイド	ベッドサイド	ベッドサイド	ベッドサイド
足腰をしっかりとつける (腰固定、両手、両脚手)					
足腰の感覚を伝える	足腰の感覚を伝える	足腰の感覚を伝える	足腰の感覚を伝える	足腰の感覚を伝える	足腰の感覚を伝える
1) トラック姿勢確認	2) くらば姿勢	3) くらば姿勢	4) くらば姿勢	5) くらば姿勢	6) くらば姿勢

が明るい活気のある声が聞かれるようになりました。何よりご家族が面会の際に「お母さん元気だね、表情が良くなったね」との感謝の声スタッフがの励みになりました。

これからも引き続き取り組みを継続し、ご利用者、ご家族、スタッフと、かかわる全ての方に感謝しながらこの体験で勉強したことをいかして、さらに高齢者の福祉に関わる全ての方が幸せになれるように、身体づくりを取り組んでいきたいと決意を新たにす機会となりました。



高松の家が開設8周年を迎えました

フェローホームズ高松の家
2015年9月1日に高松の家は開設されました。8年後の同日に立川市長選挙の不在者投票があり、選挙の立会人として来て頂いた、堀野様（開設当時事務長をされていた方）にも記念式典に参列いただきました。



地域密着型特養の特徴として、市内で生活されていた方が入所されますので、ご利用者同士やご家族同士、またはスタッフとご家族が知り合い

だったというケースも多く見受けられました。コロナ禍前になりませんが、生活されている方のご家族が、退所された方のご家族に声を掛け、一緒に行事のお手伝いをしてくれた事が思いだされず、地域の方に支えて頂きながら、無事8周年を迎えることが出来ました。今後も、ご利用者にとって少しでもより良い暮らし・日々の楽しみに繋がるように努めてまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



自分だけの特別な敬老会

フェローホームズ森の家
9月18日の午後には仲間の家、森の家、高松の家の順に敬老会が執り行われ、森山理事長よりお祝いの言葉と賞状、記念品のタオルを頂きました。

お祝い年の方には、「百四賀、百一賀、百寿、白寿、卒寿、喜寿」などのご年齢に合わせた賞状と記念品のタオルをお渡ししました。今年で104歳になられるご利用者からは「五十や六十は花なら蕾、七十、八十、九十で花盛り、百でお迎えあったら二百までお待ちと追い帰らせ」とお言葉を頂きました。私たちなんてまだまだなんだと感じさせられました。

また、お祝い年以外のご利用者の方にも喜んでいただけするように暮らしを日々一緒に共にごすすスタッフが「リハビリ頑張ったで賞」、「夫婦で素敵で賞」、「いつも笑顔がス



テキで賞」、「ステキな歌声で賞」、「たくさん食べてるで賞」、「みんなのお母さんで賞」などと、その方が一番生き生きされたり、輝いている場面を探しだして、その方に合わせた賞をスタッフが一つ一つ賞状のネーミングを考えて賞状を作成致しました。その賞状と共にお祝い年の方と同様に記念品のタオルをご利用者一人一人にスタッフの感謝とともに込めて送らせていただきました。皆さんご自分だけの特別な賞に喜ばれていました。各ユニットの長寿のご利用者の乾杯の声に合わせてぶどうジュースで乾杯されました。乾杯の音頭に合わせて鳴らさ

れたクラッカーの音にびっくりされながらも、皆さんの元気で明るい声が響いていました。これからも毎年元気に過ごせるよう、ご利用者はもちろんのこと、スタッフ一同も健康維持に努めてく事を誓いました。



三年ぶりの 法要を終えて

7月22日(土) 3年ぶりにフェローホームズ仲間の家の一階ホールにて、2021年7月～2023年6月まで施設(3施設・グループホーム)でご逝去された91名の方々の遺影を祭壇のそばに飾り、法要が執り行われました。静寂の中、お2人の僧侶による読経がホール内に響きわたり、故91名の方々のお名前がお一人、お一人読み上げられました。お経を読む人、お経を聴く人いずれも万感を胸に秘め、仏の世界におさまる場所に旅立つ「別れの儀式」は社会の習わしによって行われる大切な行事のひとつではないかと感じました。

故91名の方々は、フェローホームズを「終の棲家」として最期を迎えられた方です。コロナ禍の前の法要は、亡きご利用者をご家族とスタッフで偲び、そして施設での生活を振り返る場であり、ご利用

者を大切に思う気持ちを共有する場でもありました。その申し送りは、コロナ禍の影響であっさり消えていくのかわりに見え残念でなりませんでした。そのような中、森山理事長から「コロナ感染症が5類の感染症に位置づけられたので、法要を再開してもいいのではないか」の提案があり、スタッフ一丸となり準備し無事実施することができました。式典後、スタッフの多くは、

故91名の方々の遺影の前にたずんでいました。91枚の写真の背景には、予想もつかない人生ドラマや心に深く残る数々の思い出が隠されています。その一枚の写真に紡がれた「物語」に思いをはせながら、ご利用者に語り掛け、笑ったり、涙ぐんだり、その場をなかなか離れようとしな

い姿に心を打たれました。91枚の遺影はその後、それぞれが生活された施設に飾られ、生前一緒に過ごされた仲間と対面し、「別れの儀式」は無事終了いたしました。

最後に、故91名の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



で見る
3年

グループホーム

手作り調理活動



100歳入居者様お祝い



お散歩



羽衣デイサービス



実習生と共に



訓練水消火器

フェローホームズデイサービスセンター



外出企画・コメダ珈琲

森の子ナーサリー



アフタースクール

写真で
202



防災

しばさきの家子育て広場



ゲーム大会が大盛況！

羽衣地域福祉サービスセンター

お祭りの雰囲気味わっていただくとうと、今年の夏はゲーム大会を行いました！今年飾りつけのお手伝いもご利用者と一緒に行いました。提灯を付けただけで『祭りかい？良いね！』と声が上がります。日本人はお祭り好きが多いのだな…と実感しました。ゲームも盛り上がり、お配りした参加賞のお菓子詰め合わせをつまみながら、3時のお茶で乾杯しました！引き続き季節を感じる行事企画を行います。



外れても大笑い！



飾りつけ



大会の一位！



ゲーム大会参加



狙いを定めて…

コロナ明けリ・スタート 【男性のための料理教室】

南部東はごろも地域

包括支援センター



コロナ禍で飲食を共にする機会が無くなり、好評であった男性のための料理教室は中止していました。コロナウイルスが5類に変更になり、以前参加されていた方たちに声をかけさせて頂きまして、6月20日にリ・スタート1回目を開催。はじめは久しぶりで、スタッフは手順に戸惑ったり、それぞれの動きがぎこちな

かった部分があったりしました。しかし、2回目にはスタッフも慣れ、参加者の方もしっかり役割分担され、いきいきと手際よく調理されました。1回目は「夏・カレー」2回目は「手作りうどん」でした。できたものをみんなと一緒に食べるのがまたおいしい、と好評でした。



2023年 福祉学習・体験受け入れ

実習研修

大原学園専門学校

第3段階 仲間の家 2名

第3段階 森の家 3名

日本教育福祉専門学校

第3段階 森の家 2名

多摩リハビリテーション

専門学校 3名

介護実習二 仲間の家 3名

介護実習二 森の家 3名

会度実習一 デイサービス 3名

東京医療保健大学

老年介護学実習一

仲間の家 9名

森の家 8名

教員免許取得希望者

介護等体験

11大学 83名

東京都介護等体験

8名

ボランティアさんありがとう

2023年5月～10月

知久良夫様 (車椅子清掃)

佐藤純一・民江様 (紙芝居・歌)

恵比寿会後援会だより

2023年5月～10月に会費を頂いた方をご報告します。
(順不同)

株式会社立川印刷様・志村順子様・伊東昭子様・有限会社砂川屋様・中澤久美子様・西木場節子様・株式会社サンミヤ様・特定非営利活動法人誠和会様・H&N物流株式会社様・株式会社サンホワイト様・小池英臣様・八木下浩司様・赤尾勝一様・高橋やする様・松野登様・有限会社キネマ通り食糧販売所様・株式会社東京ボンサンテ様・矢島茂様・平敏夫様・株式会社林善様・中嶋政雄様・坂村宗紀様・佐伯信子様・宮沢則子様・石川多美子様・安藤徳長様・本間浪江様・小高政子様・五十嵐清様・中嶋道代様・皮籠石成久様・本間清光様・風間康男様

森の子ども園 MORINOKO KODOMOEN



森の庭

「森の庭」森の子ども園では、特色ある教育・保育として3つの柱を掲げています。それは、「モンテッソーリ教育」「自然体験保育」「食育」です。「自然体験保育」では、園庭内の「森の庭」の豊かな木々や植物に触れることを通して、四季の変化や、自然の中での様々な発見を通して、多くのことを学んでいます。

毎月数組の保護者が、森の子ども園の見学に見えています。園舎や子どもの活動の様子、園庭を巡りながら、森の子ども園の教育・保育の理念や取組等を紹介しています。

このような園巡りの中で、保護者の方から驚きや感動のご意見をいただいているものとして、「森の庭」があります。約30種類の樹や植物の森、四季毎に果物の実る木々。土管のトンネルやアスレチックのある築山、森のトンネルなど、小さな「冒険」のできる森の庭は、大きな関心を受けます。職員の中にも、この「森の庭」に魅かれて就職を決めた人もいます。

昭和の時代に子どもであった方は分かりますが、昔は自由に遊べる野原や、探検できる山などがありました。現在では野原は住宅地に変わり、特定の公園に行かなければ、自然と直接触れることはできなくなりました。

そして今、園が創立されてから約10年が経ちました。木々は大きくなり、果物も大人でさえ取れない所に実っています。現在、造園業者との連携の基、「森の庭育成計画」の作成を行っています。森の子こども園の大きな財産である「森の庭」をいつまでも大切に育てていきたいと思えます。

(文責)

園長補佐
齋木義二

HPはこちら



しばさきのいえ 子育てひろば

ひろばには、生まれてまだ数か月の赤ちゃんを連れて遊びに来てくれる方や、口コミやホームページを見て来所して下さる方も多いです。初めて来所される時は、保護者の方にとってもわくわくと同時に少なからず緊張や不安もあるかと思えます。そういった中でしばさきのいえを選んで足を運んで頂けることに感謝すると共に、アットホームな雰囲気ひろばで子育ての話だけでなく、保護者の方



がリラックスして息抜きが出来る場でありたいと思っています。誰かと話したくなったらひろばへ行こう、そう思ってもらえたら嬉しいです。

(文責)

橋立 美優

HPはこちら



姉妹園の森の子こども園と同様に、自然体験保育を実践しています。森の子ナーサリーには、付属する園庭はありますが、自然豊かな環境に恵まれており、

毎日の戸外活動では、たくさんの自然に触れることが出来ます。四季の移ろいの中で変化する木々など、日々変わる植物の見た目・色・形の変化は、五感をやさしく刺激してくれます。また、生き物に触れ合う経験も大切に考え、室内で植

物や、昆虫などを栽培・飼育しています。身近な自然と関わりをもつ中で、自然に共感し、周りへの関心を高めていけるように、お子さんと一緒に過ごしてまいります。



(文責)

荒木絵美

HPはこちら

